令和６年度　守る会活動方針

守る会会長　野谷信二

守る会活動スローガン　～守る・暮らす・つなぐ～

①守　る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全

②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上

③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

基本活動

●各種団体と連携した組織の団結力を強化します。

▷世界遺産マスタープランの具現化に努めます。

▷月毎に定例会を開催し、現状変更申請の審議等、話し合いを深めます。

▷休耕地の草刈りやゴミ拾い、清掃活動に積極的に取り組みます。

重点活動

●「守る」茅葺や茅採取の技術の継承の輪を広げます。

▷結の合掌屋根葺き替えを推進し継承します。

▷茅葺技術を学ぶワークショップ（勉強会）を開催し継承します。

▷茅刈り行事を通じて、茅文化を広く継承します。

●「暮らす」空き家、空き地を活用した共同車庫等を検討し景観保全に努めます。

▷荻町構想計画会議を重ね、空き家対策に努めます。

▷荻町交通対策委員会と連携し、景観保全と暮らしに適した交通対策を見出します。

▷景観保全基準におけるガイドラインを見直します。

●「つなぐ」結の再定義から地域に貢献するネットワークを構築します。

▷白川郷学園をはじめ、将来担い手の世代間ネットワークを構築します。

▷他の伝建地区や町並み保全団体等と交流し、課題解決の糸口を見出します。